

ロジスティクス強調月間2026

関西物流改善事例発表会2026

発表者募集

改善活動の規模の大小は問いません！！

(公社)日本ロジスティクスシステム協会、(一社)日本物流資格士会西日本委員会では『関西物流改善事例発表会2026』を開催いたします。

本発表会では、物流の実務に焦点をあて、物流現場担当者の方々の日々の改善へのお取り組み、小集団活動等による成果事例等、現場の改善事例を中心に広く募集し、その内容を発表いただきます。物流業務の効率化や生産性の向上、ローコストオペレーション、環境負荷低減活動などを推進するためのヒントや課題を物流の実務者同士(発表者と参加者)が情報共有することで、物流改善活動のさらなる活性化を促進し、その活動の裾野を広げることを目的としています。

貴社の改善成果発表の場として、積極的にご応募くださいますようお願い申し上げます。

応募締切日:2026年7月17日(金)

開催日:2026年10月20日(火)

会場:TKPガーデンシティ大阪リバーサイドホテル
6階 バンケット6A

大阪府大阪市都島区中野町5-12-30 大阪リバーサイドホテル(会館棟)
※発表会の開催形式は集合+オンライン(Zoom利用)を予定しております。
※発表者は原則、会場にてご発表いただきます。あらかじめご了承ください。

対象者:物流改善の成果をあげられた荷主企業(メーカー、流通業等)の
物流担当者、物流事業者・3PL事業者・物流子会社の担当者等



【主催】

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会
一般社団法人日本物流資格士会 西日本委員会

募集内容

- ◎物流現場での、ちょっとした工夫等、すぐに現場で活用できそうな改善成果の事例
- ◎物流現場で行われている小集団活動にて生産性や物流品質、安全性、顧客サービス向上、コスト低減等を実現した事例

<例えばこんな物流改善事例はありませんか？>

I. 物流業務部門

(物流センター、工場、商業施設等の構内での現場改善)

庫内作業の改善例

- ピッキングリストや棚表示、ピッキング作業の改善
- 人員配置の改善によるピーク時対応や負荷の標準化
- 荷役機械、保管設備、パレット、容器、情報端末等の改善
- 出荷頻度や取扱製品に応じた保管、配置方法の改善
- 作業環境、作業方法の改善
- 包装作業の改善

輸配送の改善例

- 復路輸送の空荷防止などによる収益の向上
- 誤出荷、誤納の減少
- トラックの積載率、回転率、運行効率の向上
- トラックの滞留・積載時間の短縮

輸出・輸入業務の改善例

- 港湾、空港など輸出入物流拠点における業務改善
- コンテナ輸送における物流の効率化
- 通関業務における事務作業の改善

テクノロジーを活用した改善例

- マテハン機器・省人化機器(ロボティクス)・IoT・AIの活用による効率化・改善 等

II. 物流管理部門

(運営・管理部門での改善)

物流システムの改善例

- 物流拠点の統合・再配置による改善
- 事前出荷情報の取得と活用による改善
- 国内・海外物流拠点間輸配送の改善
- 港湾地区における渋滞への対応
- IT・IoT活用による効率化、業務改善
- 物流に配慮した包装設計
- パレット、包装資材の環境対策

管理系(取引条件等)の改善例

- 納期回答の迅速化
- 取引条件の変更による改善
- 物流変動に合わせた作業体制の構築
- 在庫の適正化
- 現場事務へのRPAの活用 等

【物流全般】

- 環境対応、環境負荷低減を目指した活動
- CSの向上(クレームの減少)
- 災害対応について(震災・水害等)
- 教育訓練によるモラル・モチベーションの向上
- 労働力不足への対応
- 改正物流効率化法への対応
(積載率の向上、荷役・荷待ち時間短縮に向けた取り組み 等)
- 労働環境改善、働き方改革
- 作業安全性向上への取り組み
- SDGsおよびサステナビリティに向けた取り組み
- 企業連携・サプライチェーンの取り組み
- 物流現場における人材採用・育成・定着・環境改善

発表事例申込・選考・発表・表彰

- ◎発表件数は10件程度を予定しております。
- ◎発表事例の選考は取り組み領域、成果等を考慮し、実行委員会にて選考いたします。
- ◎発表時間:1事例20分間程度でご発表いただきます。
(詳細については選考結果通知の際にお知らせいたします。)
- ◎表彰:ご発表いただいた事例は優秀事例として発表会場で記念品を贈呈、表彰いたします。
- ◎申込方法:詳細は裏面(最終ページ)をご参照ください。

前回(2025年度)関西物流改善事例発表会の発表事例

(※発表順/社名は発表当時のもの)

事例発表テーマ	発表企業(発表順)
長距離路線分割による「2024年問題」への対応	江崎グリコ株式会社
反物(衣料品の生地)業務における入荷作業の効率化と在庫管理の精度UP	丸二倉庫株式会社
体系的相互応援の実現に向けて ~属人化からの脱却~	株式会社NTTロジスコサービス
国際コールドチェーンにおけるリーファーコンテナの安全輸送実現に向けた取り組み	山九株式会社
現場の声をカタチに ~倉庫・工場との連携によるクレート洗浄作業の効率化~	江崎グリコ株式会社
共通化を考慮したサンルーフパレットの新規開発	株式会社アイシン・ロジテックサービス
~好かれる荷主になろう!~ 物流業務初心者が実現した積載率UPと待機時間削減	ホクシン株式会社
倉庫の宝箱化プロジェクト ~メーカー系物流会社が取組んだモノづくり目線での「ムダ」から「付加価値」への大転換~	クボタロジスティクス株式会社
新倉庫キャパシティ拡大に伴うスキーム変更と物流コスト最適化	江崎グリコ株式会社

過去発表者の声

- ・QC活動を実践していましたが、社内で発表する機会がなかったため、このような機会に発表ができて良かったです。今後も改善の成果が出れば発表してみたいと思います。
- ・若手の現場担当者に発表をしてもらいましたが、発表に関する構成の検討、プレゼンスキルの向上等、学びながらチャレンジをしていました。若手社員の成長につながったと思います。
- ・他社の事例を聴講し、自社の改善活動のレベルや他社がどのような改善活動に取り組んでいるか知ることができ、とても参考になりました。
- ・日頃の改善活動が評価されたことで改善チームのモチベーションがさらにあがりました。

関西物流改善事例発表会2026 実行委員会 委員一覧

(順不同・敬称略)
2026年4月16日時点

1	委員長	望月 彰	マグチグループ(株) 取締役常務執行役員 コストマネジメント本部 管掌
2	副委員長	新瀬 幸司	ワコール流通(株) 代表取締役社長
3	委員	上田 明広	(株)イシダ 執行役員 営業本部 営業管理部 部長 兼 建設工事管理室 室長
4	委員	中西 秀幸	江崎グリコ(株) ロジスティクス部 チルド冷凍輸送グループ グループ長
5	委員	片山喜久雄	(株)NTTロジスコ ソリューション事業本部 西日本営業部長 八尾物流センター センター長
6	委員	榎 晃司	オムロン(株) グローバル購買・品質・物流本部リージョナル物流部 日本物流グループ長 経営基幹職
7	委員	安沢 大輔	クボタロジスティクス(株) 総務部長 兼 次世代プロジェクト主査
8	委員	篠原 武志	コイズミ物流(株) 経営企画部 執行役員 部長
9	委員	岡田 俊輔	(株)合通ロジ 営業企画部 統括部長
10	委員	太期 健仁	ココヨサプライロジスティクス(株) 物流本部 近畿IDC 副統括所長
11	委員	橋本 昌倫	佐川グローバルロジスティクス(株) 関西エリア エリアマネジャー
12	委員	高木 健一	(株)ジップ 取締役
13	委員	小阪 英智	センコー(株) 広島支店 支店長 兼 山陽センコー運輸 代表取締役社長
14	委員	武田 重治	ダイキン工業(株) 物流本部 物流改革推進担当部長
15	委員	森口 哲博	ダイセル物流(株) 安全品質推進部 部長
16	委員	松本 良彦	大和物流(株) 営業開発部 部長
17	委員	丸山 義弘	日本通運(株) 関西アカウントセールス部 専任部長
18	委員	板垣 大介	一般社団法人日本物流資格士会 西日本委員会 委員長
19	委員	牛丸 龍夫	一般社団法人日本物流資格士会 西日本委員会
20	委員	柴田 吉政	レンゴーロジスティクス(株) 営業本部 西部営業部 九州営業部 部長

<応募要領>

1. 応募から発表までの流れ



2. 応募方法

発表申込書を事務局宛にご送付ください。ご応募はメールにて受け付けております。申込書はホームページからダウンロードをお願いします。

※右記2次元コードからもご確認いただけます。

https://www1.logistics.or.jp/network/kansai_kaizen_application/



《申込書記載内容》

	応募内容の項目	説明
1	改善事例テーマ	改善事例にテーマをつけてください。
2	改善事例の概要	発表内容150文字程度で記載ください。 ※参加者募集パンフレットに記載
3	改善の取り組み内容 (現状把握・企画立案・改善実行)	現状分析、問題点の抽出、改善活動の取り組み内容について具体的に記述ください。
4	改善の成果	定量的および定性的な成果についてご記入ください。

※企業および製品・サービスPR 内容でのご応募はご遠慮ください。

〈ご送付先〉

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 関西支部 星野宛 <kansai@logistics.or.jp>

応募締切日 (締切厳守) **2026年7月17日(金) 必着**

3. 優秀事例選考および全日本物流改善事例大会への推薦について

実行委員会にて発表申込書の内容を基に優秀事例(発表事例)を選考いたします。

※発表日・時間は事務局にて決定させていただきます。

※1社から複数の応募があった場合は、発表いただく事例数を制限させていただく場合がございます。

優秀事例につきましては2026年10月20日(火)開催の「関西物流改善事例発表会2026」にてご発表いただき、会場で記念品を贈呈、表彰いたします。

なお、優秀事例(発表事例)については、実行委員会においてその内容を評価し、特に優秀とされた事例については、「全日本物流改善事例大会(東京開催)」に推薦いたします。

また、発表事例については、後日、発表内容の評価等について実行委員会からフィードバックを行います。

4. 発表資料(配布用テキスト原稿)のご提出

優秀事例に選ばれた方には、発表会にて配布するテキストの作成をお願いしております。

テキストは改善の背景・目的・成果等、ご発表頂く内容を網羅したものを作成してください。

詳細につきましては別途ご案内いたします。(テキスト原稿締切: 2026年9月25日(金))

★原稿枚数: 10枚程度、パワーポイント原稿

物流改善ポータルサイトをご活用ください

<https://www1.logistics.or.jp/data/subdivision/>

物流現場力強化のためのヒントやツールを提供しています。物流現場が自発的に考え、率先して改善する力を養うための手引書や、改善の事例集などを公開しています。詳細は、上記URLをご覧ください。

物流現場改善優良認定制度について

<https://www1.logistics.or.jp/data/kaizen/>

物流現場改善優良認定は、物流現場改善の先進企業を認定することで、広く産業界に周知する制度です。企業の価値向上とともに、物流現場改善活動の活性化、物流改善担当者のスキルアップに本制度をご活用ください。制度の概要、認定対象等詳細は、上記URLをご覧ください。